

「夢へのかけ橋実践塾」～働く力を伸ばし工賃を高める～ 第4期新堂塾 9月開講 塾生募集!



新堂塾の目指すこと

どんなに障がいが重くても利用者の持っている能力を尊重し、わかりやすい方法で仕事をして達成感を得ると、やる気を高めそれが成長につながります。能力を活かす職場や仕組みを作り出すために、施設で一人作業になってしまっている仕事を分析し、生産性を高める「ライン・工程方式」の方法を提供します。一人作業からチームでラインを作り流れ作業の役割をになうことでできる仕事が増え、コミュニケーション・対人関係の向上を実感することもできます。仕事を分析して提供する方法を考え、利用者の働く力を育て高い工賃を確保することを目指します。

塾の内容

- ・ 販路開拓、業態を変更・絞り込むなど、現在の事業の見直しを検討し計画を立てます。
- ・ 2年間“PDCA”サイクルで日々実践し、成果を出す取り組みです。
- ・ 半年に1度の間隔で研修会を開催し、塾生は目標の進捗を相互にチェックします。
- ・ 先行施設の紹介や現場の課題解決のためにグループディスカッション、合同研修会などを実施します。

応募資格および条件

- ・ 非営利法人で就労継続支援B型(多機能型を含む)事業所の責任者または職員
- ・ 事業の業態(食品製造、下請け作業、リサイクルその他)は問いません
- ・ 研修会に全回出席が可能なこと
- ・ 施設代表者の推薦書が必要です
- ・ 施設内にインターネットができる環境があること

開講期間

- ・ 2019年9月～2021年8月(2年間)
- ・ 開講式、第1回合同研修会は9月上旬予定
- ・ 以降、研修会は半年間隔で中国地方を中心に開催

申し込み方法

- ・ ステップアップセミナーでエントリーシートをお渡しします
エントリーシートに必要書類を添えて郵送にて提出してください
- ・ ステップアップセミナーに参加できない方は、ヤマト福祉財団のホームページお問い合わせ画面から、応募書類を請求してください

受付期間

7月1日(月)～8月2日(金)まで(当日消印有効)
選考結果は8月中旬に郵送で通知します

募集人数 最大10名

参加費無料・交通費宿泊費全額支給

講師紹介

社会福祉法人武蔵野千川福祉会
常務理事、チャレンジャー施設長(社会福祉士)

新堂 薫

東京都生まれ。学生時代より千川作業所と後援会活動、社会教育活動を通じて関わりを持つ。1985年に千川作業所に指導員として就職。1987年、チャレンジャー設立とともに異動。1999年にチャレンジャー施設長に就任。2003年に武蔵野女子大学大学院福祉マネジメント専攻科修士課程修了。社会福祉士。2010年9月から「障がい者の働くちから革新塾」の塾長を務める。2013年から「夢へのかけ橋実践塾」の第2期新堂塾がスタートし、2016年9月から2018年9月まで第3期新堂塾の塾長を務める。
2008年12月：第9回ヤマト福祉財団 小倉昌男賞受賞。



武蔵野千川福祉会 6事業所の事業所別平均給料

	サービス種類	平均給料	サービス内容	支援目的
チャレンジャー	B型・移行支援	95,000円	作業 施設外就労	
武蔵境 ワーキングセンター	B型	59,000円	作業 施設外就労	
ワークイン関前	B型	45,000円	作業 施設外就労	
八幡作業所	B型	36,000円	作業 施設外就労	
ワークイン中町	生活介護	15,000円	作業	
千川作業所	生活介護	8,000円	作業 活動	

武蔵野千川福祉会では6つの事業所で同じようにDMの封入封緘作業を行っています。事業所ごとに仕事の難易度と給料は段階的に変化。「機能分化」というシステムを採用し、利用者さんの能力・働く力に応じて事業所に配属されます。武蔵野千川福祉会全体で利用者さんの働く意欲や能力、ライフステージにあわせた就労事業所が用意されています。

東京学芸大学 教授 博士(教育学)

菅野 敦

北海道出身。大学卒業後、知的障害養護学校(現:特別支援学校)で教員として勤務。その後、養護学校を退職し、知的障がい児・者の学習や発達に関することを学び、研究するために、大学院(筑波大学大学院博士課程心身障害学研究科)に入学。修了後は、東京学芸大学に勤務。当時、日本で唯一の障がい児教育に関する研究所である特殊研究施設(現:特別支援教育・教育臨床サポートセンター)に所属。一貫して、知的障がい、なかでもダウン症候群を対象に、乳幼児期から成人期までの発達特性および、各ライフステージにおける発達課題の解明を行う。さらに、そこから得られた知見をもとに、「生涯発達支援」の視点から特別支援教育や障がい者支援の具体的な指導・支援内容を明らかにし、指導・支援のための方法や教育課程・支援計画に関する研究を目指す。

社会的には、日本発達障害学会理事長、日本発達障害支援システム学会会長、日本特殊教育学会評議員・常任編集委員等を務める。また、地域の児童発達支援事業(発達障害児支援センター)、保健センター、学童保育所、放課後デイ事業等での活動や生活支援に関するアドバイスや生活介護事業所、就労継続支援事業所、特例子会社における就労支援や生産活動に対するアドバイスも多数務める。さらに、2010年9月からの「障がい者の働くちから革新塾」の新堂塾、2013年からの「夢へのかけ橋実践塾」の新堂塾のアドバイザーを務める。

